

編集/コンビニの会事務局
連絡先/〒452-0807 名古屋市西区歌里町 147 番地
TEL/FAX(052)505-6082(コンビニハウス)

障害をもつ人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人

コンビニの会

定価/150 円

昭和 54 年 8 月 1 日第三種郵便物承認

第142号



清水の舞台から観た紅葉 令和元年 12 月 6 日撮影

アジアの笑顔にまなぶ

写真家 長谷川 友子

1999年に初めてミャンマーへ。2006年まで継続して、日本語ガイドと共に10回以上撮影に行った。1回の旅は10日程。私がミャンマーへ通い出した頃は、よく人に『危なくないの』と言われた。当時は軍事政権の時代で、観光客も少なく2001年頃には全日空のバンコクーヤンゴンの路線がなくなつた。2015年に民主化路線の、アウンサンスーチー氏のNLD(国民民主同盟)が、選挙で圧勝し、スーチー氏はそれまで自宅軟禁されていたが、今では閣僚として政治活動ができるようになった。だが議席の60パーセントを軍人が握っている状態。今は少数民族ロヒンギヤの難民問題で、世界的に非難を浴びている。この3〜5年の間に、街の風景が大きく変わった。そこで2月にヤンゴン(ミャンマーの最大都市)で個展を開催する事にした。

(次頁へ)

我が家に昨年12月5日から1週間、ミャンマー人ガイドの息子18歳が滞在。京都や富士山、名古屋市内観光に連れて行つた。彼はもちろん日本語が話せない。私は単語とトーキングエイドでなんとかコミュニケーションを成立させた。私と旅をしていた当時のお父さんは新婚で、彼が生まれたばかり（2001年）であつた事を再認識させられ、毎夜ホテルからお母さんに電話していた事などを話した。そして彼は、ロヒンギヤ難民について、またスーチャー氏の事を日本人はどのように思っているのかと聞いた。

親子2代、ミャンマー20年のご縁をいただき、厳しい政治状況の過去20年の歴史を私なりに記憶する事となった。写真展のテーマをSecond home（第2の故郷）とした。



新幹線から富士山を撮影

雑記 ごまめの歯ぎしり

山くん

12月11日、息子の山（さん）くんが息を引き取りました。7月にちよつと右手の様子が変だなあつてそこから、妻の紗也ちゃんに気づき、念のため病院へ連れて行くと脳腫瘍がみつかりすぐに名市大へ入院してください！と。病院では余命半年から1年と言われ、放射線治療を勧められたが、もう半年命が延びるくらいといわれました。死ぬ前提での治療など意味がないと僕は他の道を探すため治療を受けずに早めに出ることに。

その間紗也ちゃんが駆け回って、結局山くん自身の免疫で闘うしかないという結論になり、栄養など意識しだした頃、吐き続けるようになり再入院。もう最後かもと医者に言われたけど、無事に回復してまた自宅へ。そこから3ヶ月半。いろんな先生や不思議な力を持つ人や、訪問の看護師さん、そして山くんの友だち。多くの人にお世話になり、支えられて、最後の最後まで生きることをあきらめなかった山くん。結局腫瘍がどんどん大きくなって、最後は生命維持装置を司る脳細胞に触れてうまく信号が送れず、呼吸が止まり、心臓が止まりました。

この5ヶ月半、僕は常に山くんの幸せを思い、この先、生き続ける山くんの未来を見て、いかに充実した時間を過ごせるかを大事に一つ一つの決断をしてきました。本当に亡くなる最後までその決断に何一つ悔いはなく、やり切った！満足していると言う言葉が2人とも出てきました。

亡くなって三日間、山くんに会いに多くの人が家を訪れたくさんのご馳走とたくさん笑い声を届けてくれて、最後の最後まで山くんは楽しい時間を過ごせたと思います。連日連夜の来客の多さに4歳半で培えるような人の多さじゃないねと改めて山くんがみんなにとっても大事な存在だったんだなと思いました。4日目の朝、火葬場へ。やつぱりやつぱり寂しいですね。もつと遊びたいし、そして将来どんな人になつたんだろうとそれが見れないのが残念です。

でもこの間に多くを学び、とても充実した時間を過ごせました。支えてくれたみんなに感謝。山くんもほんとうにありがとう！！これからよろしくね！

（会報委員 寺園 風）

宮川 優子

別の支援からスタートしたエゼル福祉会に

とって、集団づくりはやや苦手で、また胸を張って素晴らしい活動をしていますとは言えません。

ボランティアとして関わっていただいていた名古屋特別支援学校の教頭であった伊藤先生を昨年10月から通所部門の施設長にお迎えしました。クリスマス会で多くの元教え子たちに囲まれた幸せそうな姿をご覧になった方多いと思います。若い職員が多いエゼル福祉会に足りない「長い経験」を伝え「管理能力」を存分に発揮していただけるとでしょう。

ウィルの魅力は色々な障がいを抱えた個性的ななかまが集まり助け合って活動していることでした。反面、お菓子づくりをして

いる横に音楽を聴きながらリラックスしている光景は集団としてのまとまりに欠けるものでした。今回、ウィルが2つに分かれる

ことでそれぞれの目標が明確になりました。

この原稿を書くために久しぶりにウィルに行ってみました。軽作業や製菓に集中できる環境が整えられ、やる気が上がりそうです。人が少なくなったことで本当に使いやすくなったように思えました。室内のレイアウトを変更してスタッフルームをできたことで職員間の意思疎通や業務効率が上がります。

今後は職員の勤務時間を短縮することや障害理解を深めるための研修を増やすことを計画しています。施設が2か所になったことで定員割れの状態になっています。無理な

いペースで新卒者の受け入れをすることも課題です。

ウィル



(左) マスク袋詰め作業 (中央・右) 製菓作業の様子

ウィルでリラク班とパソコン班として活動していた重い障がいを持ったなかまがヴォーロに移りました。20数年前に見学をさせてもらった作業所と比べると最新の設備が整えられて、それはそれは恵まれた環境です。福祉制度が整うということは目に見えて福祉施設が安全で清潔で使いやすくなることだと思い知らされます。なかまの多くは「広いね」「うれしい」など新しい施設を喜んでいました。

私が見学にでかけた日はヴォーロでは1年の振り返りをなかまと職員で話し合っていました。大きな変化にも適応し、和気あいあいとした雰囲気集団ができて印象を持ちました。

ヴォーロ



利用者さんをマイクロバスで送迎



一年の振り返りをみんなで話し合い

今後は医療的ケアの必要な利用者が増えていくことになります。看護師を含めて職員それぞれが表情や小さな変化に気づき安心して活動できる居場所を作っていってほしいものです。活動の状況を説明してくれた坪内さんはまもなく産休に入ります。日本全体は少子化ですが、エゼル福祉会はほぼ毎年誰かが育休をとっています。社会福祉法人になり働く環境が整えられ職員が定着し、今後も良質な介護を提供していけると 생각합니다。今年もどうぞ引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。





2019クリスマス会



11月30日(土) 北区役所講堂でクリスマス会を開催しました。



開会宣言 (塩澤しのかさん 安永麻里さん)



サンタさん 登場〜♪



イオン・ワンダーシティサンタさんから
プレゼントをいただきました



Ritzさん ☆
今年も楽しい演奏をありがとう

当日ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。(順不同・敬称略)

池田 真一 中島 晶子 山田 恵理香 岩崎 桃佳 松本 浩希 犬飼 佑輝 和田 遥香 山川 尚輝
橋本 真一 柴田 七歌 津留田 幸代 斎藤 暖奈 上野 初枝 山田 真由 山本 朔也 小林 康恵
間瀬 敬人 田辺 香奈 谷古宇 美咲 吉岡 将吾 和田 衣未 隅田 豊 川島 秀信 上野 知志
井上 祐子 長谷川 友子・水野 拓 (カメラマン)



『パプリカ』をみんなでダンス♪

お楽しみ大抽選会



ご寄付・ご支援いただいた皆様(順不同)

イオンワンダーシティ 様

G Tソリューション(株) 様

(株)カミヤマ印刷 様

高橋会計事務所 様

(有)鈴幸商会 様

オートサービス名古屋(株) 様

増田 修 様

大嶋 千波 様

三井住友海上火災保険(株)

日新火災海上保険(株)

(株)東名メンテナンス

愛知銀行 小田井支店 様

大垣共立銀行 小田井支店 様

中小田井郵便局 様

やったー!! お米5キロ
当たったよお〜♪

みんなで集合写真を撮りました



あの時 あなたが伝えてくれたこと

生活支援部

増田 真衣子

私は就職してからずっと通所部で利用者さんと一緒に創作活動やお菓子作りの仕事をしていました。2年前に生活支援部に異動したことで、利用者さんの日々の生活に深く関わるが増えました。普段外では見せない表情や一人の時間の楽しみ、作りたい料理の材料がない！どうしよう…など自分たちで考えながら逞しく生活している姿を間近に見て、また新鮮な気持ちで利用者さんたちの思いに触れることが増えました。

利用者のAさんは一人暮らしを楽しむ体
に障がいのある40代の女性です。年末も近

づき、お正月をどのように過ごすか話し合っていた時のやりとりです。

「お正月はうちに親が来てほしいな」とAさんから話がありました。毎年Aさんのお正月は親御さんの家に帰っていました。今年自分の家でヘルパーと一緒に過ごしたいと言うのです。普段なら「予定伺ってみますね！」と返すところですが、「本当に良いですか？お正月くらい実家でゆつくり過ごさなくていいですか？」と尋ねました。Aさんは私の言葉を聞き、思っていた言葉と違っていたので、なんで!？と目を見開いて、訴えられました。

私は、Aさんの母親から仕事をしているために十分に会えず、なかなか一緒にゆつくり過ごせないこと、Aさんが一人暮らしをする前まで、お正月は近所の人たちと集まってAさんの家で餅つきをして家族で楽しく過ご

していたことも聞いていました。

親御さんを招くとなるとAさんの自宅にヘルパーも傍に見守っている中で、親御さんも家族水入らずで気兼ねなくゆつくり過ごすことが出来ないかもしれないと感じて発した一言でした。

私はAさんが、年を重ねて自分自身の身体のことを気にし始めているのと同じで、親御さんもいつまでも元気ではいられない事、実家に帰ることも出来なくなる日もいつあるか分からない事を話しました。深く頷き聞きながらもすでに親御さんがAさんの介助をすることが難しいことや無理をさせてしまうことを心配していて、だからこそ正月に帰らない決断をしたようです。私はAさんなりに親御さんに無理をしてほしくない、心配する気持ちを沢山持たれていたことに気づきました。

一人暮らしをする前まで、近所の人と一緒に

に毎年お餅つきを楽しんだ思い出の沢山詰まった実家から、親御さんも引越されてAさんが過ごしていた部屋はありません。今は自分で生活している家でヘルパーと過ごす場所が、親御さんと安心して会える場所と思つての一言だったのです。親に何かあつたらどうしようと思つていた頃から、一人暮らしを始め、Aさんを支える存在が親だけでなく自分の生活をヘルパーと築いてきたことで、もう私は大丈夫！ いっぱい支えてもらつた親御さんに自分の時間を大切にしたいと感じているのだと思います。ずっと何か親御さんの手を借りないと出来なかった頃から、今はヘルパーと一緒に自分がプレゼントを渡したり家に招いたり、私もやれる！ という喜びも沢山感じているのだと思います。「家に招いて何か料理をふるまいたい」と話

すAさんの目は輝いていました。

一人暮らしを続ける中でAさんは食生活も意識するようになりました。好きなものの中でメニューを考えることが多かったのですが、健康診断の血液検査で貧血傾向と分かれると「血のため！」と少しずつレバーの味を変えながら毎日摂るようにしていました。結果、健康診断でも良い数値がでていました。苦手な食べ物もなるべくバランスよく摂る様に意識されるようになりました。

個別の支援を通して『自分で選択する』というシンプルな行為が生活の中には沢山あることに気づきました。今までは親御さんが気づいたり、あたりまえにやってもらつたりしていたことも、例えば食べる事ひとつでもメニューから食材は何があるかまで一緒に考えます。毎日選択する中で、楽しいだけでなく、時には困ったり、失敗したりすること

もあります。しかし、利用者さんが使える身体全身で感情や思いを伝えようとする姿は生きよう！ とするエネルギーに満ち溢れており、私もその場面に触れる中で人間の尊厳や生きることの意味に気づかされ、学んでいます。通所部では活動や仕事の内容など主体的に伝える事もよくありましたが、生活の場では、出来る限りその方の感性や価値観を捉えて支援に繋げることが、本人しか得ることの出来ない人生の喜びに繋がるのだと思いました。

先日、Aさんは誕生日を迎え、沢山の方からお祝いの品やメッセージなどもらった話をする中で「私は幸せ者だな」としみじみ語る姿を見て、今後も利用者さんたちの幸せをかたちに出るよう関わりたいと思います。

《活動状況》

11 月

- 4 日 W I L L ・ V O L O 祝日開所
 4 日 福祉のお仕事フェア (溝口)
 5 日 名古屋市との懇談会 (原・織部・北島)
 8 日 ケース会議 (渥美)
 9 日 サロンうたさと開催 (ピアノ 越智章仁)
 12 日 中小田井片付け
 12 日 インフルエンザ予防接種
 14 日 名古屋市との懇談会
 (大川・渥美・水谷・増田)
 14 日 暮らしの場交流会 (木村)
 15 日 サービス管理責任者研修 (木村)
 16. 23 日 重度訪問介護従業者養成研修
 23 日 サロンうたさと開催
 (チェロ&ヴァイオリン 清水直・村松麻衣)
 24. 25 日 障全協第 53 回全国集会中央行動
 (大川・伊藤・高嶋・増田・馬場)
 28 日 通所親の会
 12. 19. 26 日 行動援護従事者研修 (鬼頭)
 22 日 会報発送
 26 日 理事会
 30 日 エゼル福祉会クリスマス会(北区役所)

12 月

- 3 日 会報会議
 7 日 重度訪問介護従業者養成研修
 7 日 評議員会
 10 日 グループホーム会議
 12 日 防災会議
 13 日 施設長会議 (伊藤)
 14 日 サロンうたさと開催
 (名古屋聖書バプテスト教会賛美隊・
 ピアノ岡田 清花)
 16 日 名古屋聾学校・南養護学校訪問 (伊藤)
 16. 17 日 防災研修 (久野)
 20 日 稲沢特別支援学校・
 一宮東特別支援学校訪問 (伊藤)
 27 日 W I L L ・ V O L O 忘年会
 28 日 通所総括・大掃除



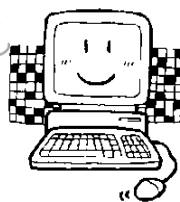
クリスマス会 収支ご報告 2019/11/30



収 入				支 出			
明 細	寄付のお品	現 金		明 細	寄付のお品	現 金	
1 クリスマステケット売り上げ 141名様		87,400		1 会場費 北区役所講堂		20,800	
2 寄付金				2 舞台・演出備品		51,516	
ご支援いただいた企業様 8社		145,000		3 出演・謝礼費等		82,084	
ご支援いただいた個人様 2名		100,900		4 その他・雑費		81,498	
3 寄付のお品				景品購入・お土産お菓子			
ご支援いただいた企業様 4社	ハム詰め合わせ			ポランティア保険 等			
	お米			5 抽選の品	特別賞 ステーキ肉		
	カップ麺				1等 ホテル食事券		
	お茶				2等 ハム詰め合わせ		
	BOXティッシュ				3等 お米		
	サンタイレットペーパー				4等 日用品セット		
	フェイスタオル				5等 カップ麺		
	貯金箱				BOXティッシュ		
	マグカップ						
	ボールペン			6 参加者様へのお飲み物	お茶		
	皿						
	キャラクターうちわ						
	ハンドタオル						
合 計		333,300		合 計		235,898	

※差引残高は公益事業会計に繰入します。 差 引 97,402

事務局コーナー



「ご協力ありがとうございました」

11月～12月（敬称略・順不同）

★ ご寄付いただいた方々

(NPO 法人コンビニの会)

※会報購読料1万円以上お振込みの方

東洋観光(株) トクメイ

★ 物品寄付をいただいた方々

(コンビニハウス)

イオンワグダーティ 石原まち

(WILL)

安永麻里 石原優樹

佐藤慶太 山口恵美子

(VOLO)

若松泰宏 宮川優子

麻生早紀 大森直子

★ 会報発送ボランティア

吉田嘉子 丹羽正子

半田素子 佐藤美紀子

★ 活動にご協力いただいた方々

(コンビニハウス)

石原正寅 辻本道子 黒田隆広

藤本菜見 大森 信 楠村ゆき

石原まち 寺西 剛 鈴木千春

伊藤翔磨 松本浩希 山川尚輝

村上梨央 森岡佳乃 藤本由紀子

岩崎桃佳 樋口美穂 酒井まみ子

隅田 豊 和田遥香 吉岡将吾

田邊利徳 上野友志 近藤友紀子

大西玲維 佐脇涼太 磯村みづき

(VOLO) 須田たみ子

★ 地域サロンボランティア

半田素子 堀江良子 佐藤美紀子

田中 咲 藤田ますえ 中川愛珠実

中島晶子 西殿紗莉那 山田恵理香

石原雅織 北島ゆり香 曾我美保

井上祐子



ミニ情報



ヘルプマークを知っていますか？

援助や配慮が必要な方へのマークです。

外見からは分からなくても援助や配慮が必要な方がいます。

👉 赤地に白のマーク

このマークを見かけたら、電車内で席をゆずる、

困っているようであれば声をかけるなど、

思いやりのある対応をお願いします。



ヘルプマーク

えんじょ ひつよう かなた
 援助が必要な方のための
 マークです

地域サロンうたさと スケジュール

日 程	楽 器	演 奏 者
1 月 25 日(土)	オーボエ&ピアノ	宮沢 花おり・佐々木杏子
2 月 8 日(土)	ギター&ハンジュー&フラットマンドリン	^{がもん} 我 聞
2 月 22 日(土)	ジャズピアノ	司 いつ子
3 月 14 日(土)	フルート&ピアノ	上田 花奈・酒井 美緒
3 月 28 日(土)	ヴァイオリン&ピアノ	田村 信子・福島 礼子
4 月 11 日(土)	エレクトーン	鬼頭 亜衣
4 月 25 日(土)	ピアノ	太田 英美
5 月 9 日(土)	オペラ歌手・ピアノ&ソプラノ	古屋 彰久・古屋 あすき
5 月 23 日(土)	津軽三味線	^{りんく} 凛 紅

ご来店は予約制のため、ホームページまたはお電話にて
お申込みください。(先着受付 20 座席分)

予約サイト <https://airrsv.net/salon-utasato/calendar> または

ホームページ <http://ezeru.sakura.ne.jp/>

予約 QR コード

(お電話の場合 080-9492-0450 高嶋)

※予約サイトで予約される方でメール受信制限をしている
方は[@airrsv.net]のドメインを受信可能にしてください



営業時間 第 2・第 4 土曜日 13:00～15:30

〒452-0807 名古屋市西区歌里町 147 番地
社会福祉法人 エゼル福祉会 TEL 052-505-6082

【銀行口座】三菱UFJ銀行 小田井支店 店番 238 (普) 口座番号 1440108

特定非営利活動法人 コンビニの会

【郵便振替口座】番号 00800-2-35190 コンビニの会

ご意見・ご質問・お問い合わせは下記までお寄せください。

障害のある人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人

〒452-0807 名古屋市西区歌里町 147 番地

コンビニハウス Tel (052) 502-7731

Fax (052) 505-6082

コンビニの会

理 事 宮川 優子

U R L <http://ezeru.sakura.ne.jp/>

E-mail convini@beach.ocn.ne.jp

